

統一地方選・参院選 大勝利

4月の統一地方選は兵庫県下70名の全員当選、7月の参院選でも兵庫選挙区高橋みつお候補をはじめ、全国7選挙区完勝、比例区でも7議席を獲得させていただきました。

非改選議席と合わせた参議院の新勢力は28議席。議席占有率(11.4%)は結党以来、過去最高となりました。



現場の声を国、県、市政へ!

9月に県下51団体をお招きし、党兵庫県本部政策要望懇談会を開催。各団体のご意見、ご要望を伺い意見交換を致しました。



皆様の真心にお応えするため、議員のネットワークを生かし、お約束した政策の実現に全力で取り組んでまいります。

参議院議員 伊藤 たかえ

プロフィール 弁護士、税理士。大阪弁護士会人権擁護委員会元副委員長。関西大学法学部卒。兵庫県出身。

党役職 女性委員会副委員長、兵庫県本部副代表、参議院兵庫選挙区第1総支部長、参議院国会対策副委員長、国土交通部会長代理

所属 参議院 国土交通委員会(理事)、予算委員会、憲法審査会

「小さな声がかたに」



公明 スポット

障がい者の状態などによって1~5年に1度行われる障害年金の更新手続きに関して、これまでは提出期限(誕生日の月末の1カ月前)に発送されていた必要書類(医師の診断書など)の用紙が同3カ月前には発送されることになった。提出する障がい者の負担軽減へ公明



伊藤さん

期限の3カ月前に用紙発送

書類作成の期間を確保

提出者の負担軽減へ伊藤さん主張

障がい者の状態などによって1~5年に1度行われる障害年金の更新手続きに関して、これまでは提出期限(誕生日の月末の1カ月前)に発送されていた必要書類(医師の診断書など)の用紙が同3カ月前には発送されることになった。提出する障がい者の負担軽減へ公明が主張し、今年8月末が期限となる分(8月生まれの人、5月末発送)から実現した。今回の更新手続きの改善については、国民年金法、厚生年金保険法の施行規則をそれぞれ昨年12月に改正。従来は誕生日の月末の前1カ月以内)に作成された医師の診断書を出さなければならなかったが、「3カ月前で診断書の作成に2~3週間かかるケースも一部で見られ、受給者からは「作成期間が短すぎる現状を理解してほしい」との声が上がっていた。こうした現状を視覚障がい者から相談を受けた公明党の伊藤孝江参議議員は、2017年12月の参議院厚生労働委員会で、診断書など必要書類の作成について「1カ月前では時間が足りない。通知を早めるべきだ」と主張。加藤勝信厚労相(当時)から「期限の3カ月前に(用紙を)送付する方向で検討したい」との答弁を引き出していた。

2019.5.31 公明新聞に掲載

つなぐ ホットライン vol.06

2019年10月発行



兵庫県本部女性局の皆様と

伊藤たかえ

WEBサイト
(ブログ更新中)

伊藤 たかえ 検索
www.ito-takae.com



「伊藤たかえ公式ホームページ」にて詳しい情報をご覧ください。

最新情報を
発信しています!



Facebook



Twitter
@ito_takae



LINE

友だち追加はこちら!



つなぐ
ホットライン
vol.06

発行所: 公明党参議院兵庫選挙区第1総支部
〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通3-3-16
甲南第1ビル 812号室
TEL 078-599-6619 FAX 078-599-6679





国会質問

第198回通常国会(1.28~6.26)では、予算、決算、法務の各委員会と、国民生活経済調査会で、20回にわたり質疑に立ちました。

1 決算委員会 R1.6.10

●安倍総理に「新たな景気刺激策」を問う

英国のEU離脱や、米国FRBの金利引き下げが取り沙汰される(当時)など、世界的に経済の先行きが不透明感を増す中、「政府として新たな景気刺激策を打つ考えはあるのか」と質問。総理は「経済の先行き次第で追加の経済対策を実施する」と答弁。

リスクに対する政府の万全な姿勢が明らかになった質疑の様子はNHKが中継した他、日本経済新聞が直ちに電子版で伝え、翌日の朝刊で各紙が報じました。



6月10日付 日経電子版 「リスク顕在化なら機動的な政策」

6月11日付 朝日新聞 「機動的なマクロ経済政策を躊躇なく実行」

6月11日付 神戸新聞 「仮にリスクが顕在化する場合には、機動的なマクロ経済政策を躊躇なく実行」

●海洋プラスチックゴミ問題

海洋中のプラスチックごみによる環境汚染が地球規模で広がっていることから、政府に資源循環に対する積極的な取り組みを求めました。

6月11日付 朝日新聞

伊藤 「G20でプラスチックゴミの問題をしっかりと訴え、イニシアチブを発揮し議論をまとめてもらいたい」

原田環境相 「G20では全世界で取り組むという意思決定が大事ではないかと思う」

2 法務委員会理事として論戦にのぞむ

昨年秋の臨時国会で法務委員会の理事に選任され、与野党対決となった「入管法」改正など重要法案の成立に努めました。

●「入管法」改正を総理に問う H30.12.6

改正案は近年の深刻な人手不足を背景に、とくに困っている業種に限り、これまで原則として認めてこなかった外国人労働者の受け入れを認めようというもので、人手不足の現場のニーズと、技能実習などで汗して働く外国人労働者の希望がともに満たされる制度となることを強く求めました。

12月7日付 朝日新聞
伊藤 「悪質ブローカーを排除する取り組みを」
総理 「行政指導や行政処分を的確に行う」

12月7日付 毎日新聞
伊藤 「社会への影響は必ずしも明確でなく、国民の不安につながっている」
総理 「労働条件や労働環境、日本語教育の充実など各種取り組みを年内にまとめる」

法務委での主な質疑項目

- 2018 11.15 法務省・裁判所における障害者雇用の不適切計上
- 11.29 技能実習生失踪の課題
- 12. 4 造船分野における技能実習制度
- 12. 5 改正入管法について参考人への質疑
- 12. 6 悪質ブローカー排除の必要性
- 2019 1.24 外国人材の受け入れ・多文化共生について
- 3.12 成年年齢引き下げについて
- 3.20 少年法適用年齢引き下げの検討状況
- 4. 9 選挙活動とヘイトスピーチ
- 4.11 民間事業者によるWEBサービスと司法書士業務
- 4.16 法廷通訳について
- 4.18 債務者財産の開示制度の実効性の向上
- 4.23 外国籍調停委員について
- 4.25 子の引き渡しにおける強制執行
- 5. 9 ハーフ条約事案における子の返還の代替執行
- 5.14 技能実習制度の適正運用
- 5.16 表題部所有者不明土地の管理について
- 5.21 刑事施設における自弁品の価格設定
- 5.23 DV被害者による離婚届不受理申請
- 5.30 法曹養成のあり方
- 6. 4 養子制度に関する参考人への質疑
- 6. 6 特別養子縁組の利用状況

つなぐ
アクション

カメラアイコン

ITO TAKAE +
PHOTO DOCUMENT

伊藤たかえの活動報告

日々の活動を写真で
ご紹介します! /

H30.10 青年支持者との意見交換会

H30.12 伊藤たかえを励ます関大有志の会 国政報告会in尼崎

R1.6 第三回神戸発視覚障害者雇用の未来を考えるフォーラム

R1.6 円山川中郷遊水地整備事業起工式

R1.8 日中次世代交流委員会として訪中

R1.8 「ヒマワリらじお」収録(ゲスト:BOROさん)

R1.8 兵庫県本部女性局街頭演説会

R1.8 伊藤たかえ兵庫県弁護士会有志後援会 国政報告会

R1.9 税理士による伊藤たかえ後援会 第2回定期総会

R1.9 国際福祉機器展 H.C.R.視察

R1.9 国交大臣に兵庫県予算要望

R1.9 久里浜少年院視察